

## イートンカレッジサマースクール(2024.7.24~8.9)

夏休み、本校では高校一年生の希望者を対象に、短期海外研修を行っています。今年はアメリカ研修が3つ(サンフランシスコ周辺 7/25~8/7 ポストン周辺 7/27~8/4 ハーバード大学とその周辺 7/21~7/28)とイギリス研修(イートンカレッジサマースクール 7/24~8/9)が1つ、それぞれ実施されました。そのうちイートン研修については、本校教員が1名、引率者として帯同します。

ここでは、イートン研修に参加した高校一年生の体験記を紹介します。

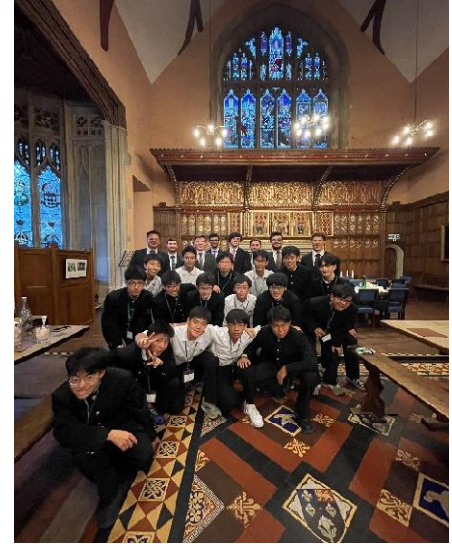
私はこの夏、イートンカレッジサマースクールに参加しました。その経験をもとに、サマースクールの内容を紹介します。

サマースクールの期間中、私たち生徒は「ハウス」と呼ばれるイートンの寮の一角に滞在しました。イートンは全寮制の学校で、敷地内に25のハウスがあります。私たちはその内の一つで、引率や授業を行う現地スタッフたちと一緒に生活しました。そこではスタッフからの指示はもちろん、スタッフとの会話も当然すべて英語です。つまり、生活する中で指示を聞き、疑問に思ったことを質問などしているうちに英語を実際に使う力をつけることができるという環境でした。英語が必要な生活というのは日本ではなかなか体験できないものです。さらにサマースクールの期間中はほぼ毎日3コマの授業があります。内容はそれぞれ会話、文法、イギリスの歴史と文化でした。授業中はテーマに沿った発表やゲームのようなもの、さらに討論などを行ない、ラ・サールの英語Cの授業(注:ネイティブの先生による授業)のような雰囲気でした。このような非常に充実した環境で英語力の向上に励むことができました。

さて、ここまで語学の内容について書きましたが、私はイートンのサマースクールの本当の魅力は他にあると思います。それはイギリスの文化に触れる経験です。これがあるからこそ、私はこのサマースクールをお勧めします。具体的には“excursion”、直訳すれば「小旅行」というものがあります。これは校外研修のようなもので、ある日は大英博物館に行って貴重な展示品の数々を見た後、ロンドンの劇場でミュージカル「ライオンキング」を鑑賞し、また別の日には自然史博物館で巨大な化石に圧倒され、さらに別の日にはストーンヘンジとソールズベリー大聖堂に行き、他にもポーツマスという港町やウィンザー城などさまざまなところに行きました。期間中イギリスの歴史や文化に触れ続けることができ、とても貴重な体験ばかりでした。その小旅行に出る前には必ずレクチャーの時間にスタッフから行き先についての予備知識をもらっていました。小旅行を控えていない日のレクチャーでは、イートンで長年教えている先生などが講師として面白い話をしてくれました。

他にもスポーツをしたり、自分たちで作ったスコーンでアフタヌーンティーを楽しんだり、さまざまな活動をしました。滞在した2週間は本当にすることが多く、とても濃密な日々でした。学びが多く、何より「とても楽しかった」という言葉では言い表せないほど楽しかったです。

最後になりますが、このサマースクールへの参加を迷っている人がいたら是非とも参加して欲しいです。英語力を向上させると同時に海外の文化に深く触れるという点でこれほど良い環境はありません。参加費がかなりかかりましたが、どうしても参加したかった私は、親にひたすらお願いして参加を認めてもらいました。終わってみて、とても感謝していますし、何より行って良かったと心から思います。このプログラムでは本人の意志さえあれば、一生役に立ち、思い出に残る素晴らしい経験ができます。より多くの後輩に同じ体験をしてもらえることを願っています。



上段左から Eton College School Yardにて / Eton の伝統競技「Eton Five」 / 自然史博物館  
 中段左から メアリーローズ博物館(ポーツマス) / Eton High Street の標章 / Eton college Hall にて  
 下段左から ストーンヘンジにて / Eton College Hall の食事準備 / ソールズベリー大聖堂